

# 藍住町 議会だより

第59号

平成21年11月25日  
発行 藍住町議会  
編集 議会だより編集委員会  
徳島県板野郡藍住町奥野  
字矢上前52-1  
TEL (088)637-3127  
FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



獅子舞（馬木獅子保存会）



藍の館 菊花展

## CONTENTS

9月定例会	P.2
一般質問	P.5~11
総体質問・委員会報告	P.12
町からの主な報告	P.13
議会のうごき	P.14

# 9月定例会

9月定例議会が9月7日から18日までの12日間の会期で開会され、下記の議案について審議した。

## 町長提案

- 平成21年度藍住町一般会計補正予算の専決処分を報告し、承認を求めることについて . . . . . 原案可決
- 平成20年度藍住町一般会計歳入歳出決算の認定について . . . . . 原案可決
- 平成20年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）歳入歳出決算の認定について . . . . . 原案可決
- 平成20年度藍住町特別会計（老人保健事業）歳入歳出決算の認定について . . . . . 原案可決
- 平成20年度藍住町特別会計（介護保険事業）歳入歳出決算の認定について . . . . . 原案可決
- 平成20年度藍住町特別会計（介護サービス事業）歳入歳出決算の認定について . . . . . 原案可決
- 平成20年度藍住町特別会計（後期高齢者医療事業）歳入歳出決算の認定について . . . . . 原案可決
- 平成20年度藍住町特別会計（藍寿苑介護サービス事業）歳入歳出決算の認定について . . . . . 原案可決
- 平成20年度藍住町特別会計（水道事業）歳入歳出決算の認定について . . . . . 原案可決
- 平成20年度藍住町特別会計（下水道事業）歳入歳出決算の認定について . . . . . 原案可決
- 平成21年度藍住町一般会計補正予算について . . . . . 原案可決
- 平成21年度藍住町特別会計（国民健康保険事業）補正予算について . . . . . 原案可決
- 平成21年度藍住町特別会計（後期高齢者医療事業）補正予算について . . . . . 原案可決
- 平成21年度藍住町特別会計（下水道事業）補正予算について . . . . . 原案可決
- 藍住町乳幼児等医療費助成条例の一部改正について . . . . . 原案可決
- 藍住町国民健康保険条例の一部改正について . . . . . 原案可決
- 藍住町手数料徴収条例の一部改正について . . . . . 原案可決
- 職員の特殊勤務手当に関する条例等の一部改正について . . . . . 原案可決
- 藍住町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び  
活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について . . . . . 原案可決
- 藍住町土地開発公社定款の変更について . . . . . 原案可決
- 町道路線の認定について . . . . . 原案可決
- 町道路線の変更について . . . . . 原案可決
- 藍住町教育委員会委員任命の同意について . . . . . 奥村康人
- 固定資産評価審査委員会委員選任の同意について . . . . . 住田義典

# 平成21年度一般会計補正予算

**専決処分** (※) (法人町民税の前年度予定納税分の還付が多く発生したことによる)

歳入・歳出とも **7,600万円増額**  
**予算総額 86億8,300万円**

補正の内容 (1万円未満切り捨て)

**総務費**

還付金及び還付加算金 7,600万円

(※)専決処分とは？

議会が議決しなければならぬ条例・予算などについて、町長が議会を招集する時間的余裕がない緊急の場合に、町長がその議決すべき案件を処理することを言います。

(地方自治法第179条)

## 9月定例会

歳入・歳出とも **5億5,000万円増額**  
**予算総額 92億3,300万円**

**主な補正の内容** (1万円未満切り捨て)

**総務費**

町有施設への地上デジタル放送対応テレビ購入費 2,400万円  
 街路灯のLED化(約200基) 1,000万円  
 国民投票の投票人名簿システム構築費 1,539万円

**衛生費**

新たな土砂仮置場の整備事業 2億7,000万円  
 乳幼児等医療費助成の対象年齢拡大等のための費用 1,155万円  
 ソーラー式LED外灯設置費  
 (地域グリーンニューディール基金事業による) 1,333万円

**土木費**

まちづくり交付金事業費(町道改良事業費等) 8,650万円

**消防費**

全国瞬時警報システム(J-アラート)導入費 1,000万円

**教育費**

小・中学校等における教育用コンピュータ、50インチテレビ、電子黒板等の購入、運動場の一部芝生化(国の学校情報通信技術環境整備事業及び経済危機対策臨時交付金を活用) 約1億1,300万円

**諸支出金**

6月補正予算での土砂仮置場売払い収入の基金積立ての取りやめ(新たな土砂仮置場を整備するため) △1億2,722万円

# 平成20年度一般会計決算認定

**歳入 86億2,656万3,373円**

(単位：円)

町 税	3,913,720,205
地方譲与税	117,774,000
地方交付税	1,360,243,000
各種交付金	385,734,000
分担金及び負担金	360,924,660
使用料及び手数料	268,946,453
国庫・県支出金	1,083,735,794
繰越金	328,659,983
町 債	670,700,000
その他	136,125,278
歳入合計	8,626,563,373

**歳出 83億5,113万4,330円**

(単位：円)

議 会 費	92,566,816
総 務 費	809,911,534
民 生 費	2,234,409,298
衛 生 費	1,345,875,455
労 働 費	14,054,729
農林水産業費	77,954,083
商 工 費	9,088,680
土 木 費	611,262,393
消 防 費	400,949,723
教 育 費	1,472,857,985
公 債 費	1,177,151,306
諸 支 出 金	105,052,328
歳出合計	8,351,134,330

# 平成20年度特別会計決算認定

単位：万円（1万円未満四捨五入）

会 計 名	歳 入	歳 出
国民健康保険事業	29億3,731	27億7,535
老人保健事業	2億 583	1億7,987
介護保険事業	17億9,803	16億6,173
介護サービス事業	1,138	1,138
後期高齢者医療事業	1億6,730	1億6,421
藍寿苑介護サービス事業	2億8,472	2億7,222
水道事業（収益的収支）	5億 780	3億3,588
水道事業（資本的収支）	2,075	5億1,868
下水道事業	3億1,093	3億 582

陳

情

1件の陳情がありました。

▼新農地制度の円滑な運用に向けた農業委員会への体制整備等のお願い

陳情者 藍住町農業委員会・徳島県農業会議

\*\*\*\*\*

## 住民の陳情について

以前から概要等は聞いていたが、日時は知らされていなかった

**問** 春日地区の団地の方々十数名は、団地の中の道路が町道でなく個人の所有になつて困つて役場に一週間前からアポを取つて相談にこられたのに、町長、副町長、誰も出席していません。町民の声に対して誠意を持った対応が出来ているか。

**答** 役場の仕事は組織で行つており、課長はその責任を自ら全うしようとしたもので、その姿勢は評価したいが、住民の皆様には不快感を与えたとすれば、おわび申し上げます。

ただ、住民からの要望等は、できるものはすべて解決をしたいとの思いで町政にあたっては、御理解いただくようお願いいたします。



藍住町商工会館

**問** 北環状線沿いにコーナ、夢タウン等を積極的に町主導で誘致しているが、

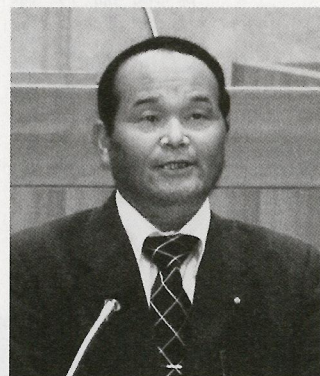
## 商工業活性化について

商工会に対し、定額補助等を行っている

町内商工業者は長引く不況や大手企業の出店により大打撃を受けている。町内商工業者に対しての活性化策は、

**答** セーフティネット対象業種が拡大されているほか、徳島県や徳島県信用保証協会でも様々な融資制度を設けており、活用を図っている。

町商工会でも、経営改善普及事業による相談指導、小企業等経営改善資金の貸付手続を行っている。また、町のごみ袋取扱手数料収入等を活用していただいていると思う。



小川 幸英 議員

## その他の質問

- 夢タウン周辺の道路整備について
- 新型インフルエンザ対策について

## 土砂置き場、仮捨て場について

今まではコンクリートのプール状態で露天であった

**問** 土砂置き場仮捨て場用地を1億2、722万円で夢タウンに売却している。坪9万5千円で売却との事であったが、周辺で夢タウンに売却した方が何軒かあり坪当たり16万円で売却したと聞くが、町は何故9万5千円で売却したのか。町にとって大きな損失ではないか。

挟んだ横に1億4、700万円強を余分に出して施設を造るのは税金の無駄使いではないか。

**答** 町は、不動産鑑定価格も参考にして売却。個人の地権者とは30年間の賃貸契約のようである。

ゆめタウンについては、雇用の拡大や税収、町の活性化につながると認識している。

又、売却した土地から道を挟んで横に用地を購入予定で9月の補正予算で出されている。土地購入費、委託料、工事費合わせて2億7千万円が計上されているが、一企業の夢タウンの為に現在稼動している施設を売却、その代替として道を

土砂仮置場は将来的にも必要な施設である。今回計画の施設は建屋方式を採用し、臭気対策や景観等の環境面にも配慮。敷地面積も約450坪広いため、当然、金額は増えてくる。

# 台風・豪雨に備え災害防止安全対策

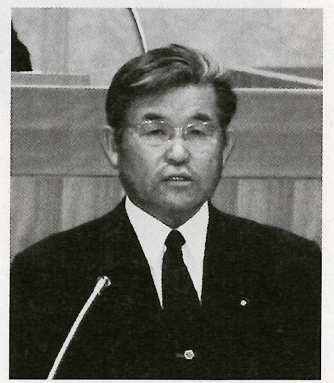
本町では消防団の皆さんに参加をいただき、おおむね2年に1度の割合でロープワークや水防工法の講習会を実施している

**問** 平成21年8月9日、台風9号に伴う猛烈な雨が徳島県等、中国や近畿を襲い死者不明者30人もの命を奪い、本県でも徳島市の小学4年男児が用水路に流され死亡しました。今後の豪雨、洪水に備え災害防止対策として、水路等落差がある所に境界が分かるように「ポストコーン」の設置を。又、豪雨で人が流された時、海水浴、川でおぼれた時等、人命救助策としてロープの結び方、大雨災害時に備えて土のう袋の結び方等、町民に「水防講習会」を

**答** ポストコーンは、事故を未然に防げるよう、必要な危険箇所にはできるだけ設置していきたい。

また、町民参加の講習会については、社会福祉協議会や各種団体、地域の自主防災組織との連携など、町民の皆さんが参加していただけのような講習会開催を考えていきたい。

## あいずみ商工会納涼祭 雨天時の対応について 福祉センター周辺の舗装・排水は、 改修の予定



永浜 茂樹 議員

**問** 8月1日みどりの広場で納涼祭が盛大に開催され町民は大変喜ばれましたが、時折強い雨にあい、所々に水溜まりができましたが排水箇所がなく苦慮しました。今後の納涼祭に備え催し敷地周辺舗装と排水対策を講じて頂きたい。

**答** 事業として今年度10月に改修工予定である。



舗装・排水改修予定の福祉センター周辺

## 町内学校・校庭に芝生を 学校と十分調整を図り、事業を 進めたい

**問** 国の経済危機対策として、補正予算に組み込まれたスクールニューディール構想に基づき各小・中学校

の校庭に部分的に芝生化の計画との事でしたが、芝生の推進については、けがや土ほこりの防止のほか、児童の環境意識を高めるのが狙いと言われています。なるべく広範囲の芝生対応で、環境にやさしい運動場に。

**答** 各学校の芝生化の面積は、運動場の約2割を予定している。今後の事業推進については、今回の事業の効果をも十分検証するとともに、他県でのいろいろな効果的手法を調査・研究する中で検討していきたい。

### その他の質問

**健康保持対策**

○町内各老人憩いの家に「ひざ・腰・肩」を守るかんたん体操の本の設置を

## 歴史的な政権交代に対応できるのか？

今後の動向に注意を払い、迅速に対応していきたい

**問** 今回の総選挙で55年体制以降、今日まで政権を担当してきた自民党政治に対し国民は怒りの鉄槌を下しました。これまでの「中央集権」政治から大きく転換すると思われる。地方自治体も従来の国や県の言いなりの行政から自立した行政へ転換しなければならぬが理事者、議会とも対応できるのか。

**答** 国と地方が主従の関係から対等・協力の関係に移行する必要があるが、現時点では完全に改善されたとは言えない。権限委譲が進む中、財源の移譲は大きな課題となっており、今後、これらの改善に向けて新政权に大きな期待を寄せるところである。新政权の施策の情報を集めながら、これからの対応を十分に考えていかなければならないと思っている。

また、委譲事務等の増加に対応できるよう職員研修内容のレベルアップを図るとともに、広域行政での取り組みも検討したい。

## 新型インフルエンザ対策を急げ！ 国において現在、予防接種の優先順位 や公費負担について議論がされている



喜田 敏夫 議員

**問** 9月下旬から年末にかけて大流行が予測され、ピーク時には人口の20%（藍住町では6,400人）が罹患するといわれている。すでに全国各地で医療現場がパンニックになっている。藍住町ではパンニックにならない対策として町民全員に公費で予防接種を受けられるよう準備をするべきではないか。

**答** 町でワクチンの確保をするのは、技術的にも不可能である。補助制度については、国の動きもまだ明らかになっていない。国の動向を注視し、町民の安心・



千間堀

## 町内排水路の抜本的見直しを！ 町管理の千間堀は、年次計画的に 浚渫工事を実施したい

**問** 8月の集中豪雨で山口県や兵庫県で大変な災害が発生しています。藍住町で

もたった1000ミリ程度の雨で町内数箇所が冠水した。13年前の「藍住町総合計画書」に早期改善がいられている。いまだに放置しているのは職務怠慢ではないか。応急措置として南、北千間堀、前川の浚渫を急ぐべきではないか。

**答** 前川は県の管轄であり、昨年、名田地区付近で約80メートル浚渫工事していた。その後、浚渫工事が実施されてないため、県に再度強く申し入れをした。抜本的排水対策としては、排水ポンプの台数や能力アップを県に強く要望したい。



正法寺川公園

## 遊具の安全性、点検等について

異常があればいずれの施設においても直ちに修理し、修理不能の場合は撤去する等、子供達が安全に遊具を利用できるように対策を講じている

**問** 遊具を使つての冒険や新しい挑戦は自身の発達に役立つとされ、本町の教育施設や公園等にも多く設置されています。楽しい遊具が、管理不十分で事故に繋がる恐れもあります。安全確認の方法、点検マニュアルの有無について尋ねます。又、現在使用不可となっている遊具については、早急に点検・補修をし、子供達に安全な遊具提供を。

**答** 児童館と保育所では、毎朝、職員が目視点検と触診を実施。  
正法寺川公園、桜つつみ

公園の大型遊具は、本年度から専門業者による定期点検を年1回実施。職員による定期点検も行っている。幼稚園・小学校では、専



西岡 恵子 議員

門業者による保守点検作業を年2回実施。普段は目視による点検はもとより、折に触れ注意を払っている。

## 新型インフルエンザの対策について

現在、全児童・生徒へのマスクの配布は予定していない

**問** 集団生活をしている学校での感染予防対策についてのどのような指導をしているのか、保健室においての分離、保健室のマスク備蓄について尋ねます。又、マスクを全児童・生徒へ配布はできないものか。

新型インフルエンザワクチン接種は、自己申請・自己負担。受けたくても経済的な面で受けられない人への対応について尋ねます。

**答** 保健室での一般利用者との分離、インフルエンザの疑いがある児童・生徒のマスク着用とすべての幼小・中学校で保健室用マスクを備蓄するよう徹底している。

ワクチン接種の補助制度は、接種の優先順位等が明らかになった段階で検討したい。

## その他の質問

○ 3町合同企画展・藍染文化交流事業について

## 防災について

水害に備えたボートの増加は、いろいろな意見を踏まえて協議したい

**問** 本町は転入人口の多い町、又、たくさん買い物客が他町より大型店を訪れており、町内の地形を充分把握できてない状況の中、集中豪雨等の水害対策として、海拔表示板を設置してはどうか。

又、AIテレビや藍住町のホームページにおいて、防災意識を高めるための内容工夫すること、乳幼児・高齢者等のための避難用ボートの設置について尋ねます。

**答** 町内全域、非常に起伏が少ない地形であり、海拔を表示することが効果的かどうか検討させていただきたい。

東部消防組合でゴムボートも含めて2隻の船を所有。本町でも正法寺川を考えると所有しているものを含め、2隻の船がある。



## 火災報知器設置について

近隣町において火災報知器設置支援を実施しているという情報はない

**問** 平成20年9月議会の一般質問において質問、答弁をいただいておりますが、1年を経ていますので、その後どのように進行しているか？一人暮らしの高齢者生活保護世帯、障害者のおられる世帯に対して設置費用の全額負担はできないのか？

**答** 町としては、防災啓発や自主防災組織活性化にもつなげることを目的として、自主防災組織に対する補助制度の中で、新たに高齢者のみや障害者等のみの世帯に対し、家具の固定や火災報知器の設置支援を行っていきけるよう、要綱等の変更を考えているところである。

**問** 生活保護を受けていることが友人や近所の人に知られてしまつて困っているという相談がありました。生活保護の支給日に役場で見張っていたりするケースがあるので、本町における支給の仕方を変えたり別の場所にすることはできないでしょうか？

**答** 条件により口座振替も可能であるが、すべての人が該当する訳ではない。待合場所を含め、毎月定期の日に会場を確保できるかどうか、それだけでプライバシーの確保ができるかどうか等、難しい面もあるが、



保育所で遊ぶ子供達

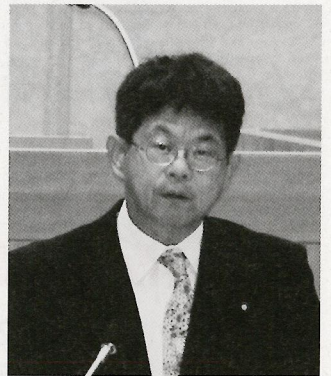
**答** 現在、待機児童は0歳児で9名。本年度は空き保育室がない状況である。今後、定数を増やすとすれば、保育室の増設、保育士の確保、新たに民間保育所等の活用なども考えられる。今後の待機状況や児童数の推移により検討していきたい。

**問** 少子・高齢化は日本の大きな課題であり、問題化されています。産休が明ければ職場復帰しなければならぬのに、子供を預かってもらえる所がない。そのためにも、公共の保育所などの役割が大きくなっていくのではないのでしょうか。3つの保育所を通じて0歳から3歳までの待機児童が何人くらいいるのか？0歳児を受け入れている保育所に今後増員とか受け入れる保育所を増やすことはできるのかお聞きします。そして、随時受け入れることはできないのか？

## 生活保護受給方法の改善について

改善できるものがあれば改善していきたい

県東部保健福祉局のケースワーカーとも相談したい。



小西 浩昭 議員

## 保育所の0歳から3歳までの定数について

年度当初の保育室編成や保育士の配置でできるだけ調整を行っているが、定数を増やすのは難しい状況

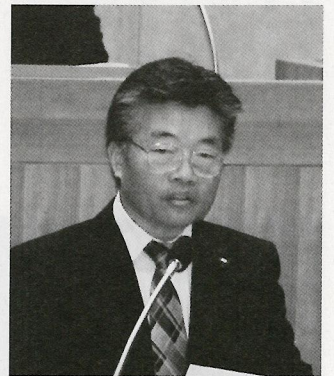
## 町政のここが聞きたい

## 政権交代時代の自治体運営について

### 財政基盤がしっかりした自立の町を 目指したい

**問** これまで長期にわたる自民党優位体制から、政権交代により時代は新しい局面を迎えた。全国知事会の動きにも見られるように、地方分権は確実に前進する。民主党は基礎自治体への権限委譲を優先する考えで、地方の競争の時代になる事が予想される。人材確保、業務の効率化、経費削減に取り組み、教育行政や環境施策等、町独自の特徴のある町づくりが求められる。近隣自治体との連携強化などこれからの町政運営についてお伺いしたい。

**答** 近隣5町で連携協力しながらできるだけ行政コストを削減していく中で、率的・効率的な行政を模索していこうという考えの下、今年4月に板野郡5町による地方行政研究会を立ち上げた。これから非常に難しい対応を迫られる自治体運営にとって、板野郡5町が協力しあいながらコストを引き下げ、住民に受け入れられるようなよりよい政策を立案、実行していこうという研究会であり、広域行政についても研究を重ね、進めていきたい。



西川 良夫 議員

## 教育環境の整備・学校美術館とは

優れた文化芸術に親しむ機会や活動の充実を図ることは、非常に有効な手段である

**問** 時代の変化と共に子供達を取り巻く環境は大きく変わり、特に近年、周りとのコミュニケーションが取れず、生徒間のトラブルが増えているとのこと。文化芸術の推進は、相互に理解し尊重しあう心を育て多様性を受け入れられる心豊かな社会を形成するものであり世界平和に寄与する。との言葉に今、多くの学校で空き教室を使つての学校美術館と称するもの、有名画家の作品や生徒の美術作品の展示、また地域と一体となつての企画も盛んに行われている。学校美術館は教



小学校内の作品掲示板

育環境を一変させますとはある校長の話。本町でもこの例を参考に学校美術館の取り組みを関係者と協議してはどうか。

**答** 現在、学校においては本物の芸術を鑑賞する機会をできるだけ充実するように取り組んでいるが、地域ボランティアの方、文化協会の方を中心にいろんな優れた活動をされている方もあるので、その方達の御支援もいただきながら、子供達が文化芸術に触れる機会を増やしていきたい。

## 排水対策は町行政の大切な役目

河川に早く排水を持っていくため、排水ポンプの能力アップ等を国・県に強く要望したい

**問** 下水道には莫大な金を使い事業計画を立て執行。排水対策も年次計画を立て住民の暮らしや環境を改善すること

・勝瑞地区の千間堀付近は、台風がくると道路も冠水し家の中まで浸水。マルナカ春日店前の徳新専売所西側の道路は冠水し付近は交通不能と浸水対策  
・道路や公園など雑草の清掃作業の計画と受け皿は

**答** 例年5月に主要排水路の浚渫、6～10月に側溝清掃を行い、既設排水路の改修工事を実施。  
町内主要幹線道路の雑草は町管理だが、7・8月は側溝清掃を集中的に行うため、直営では除草作業がおろそかにもなっており、今後、委託も含め考えたい。

### ごみ袋は無料にという提案 一部として使わせていただいている

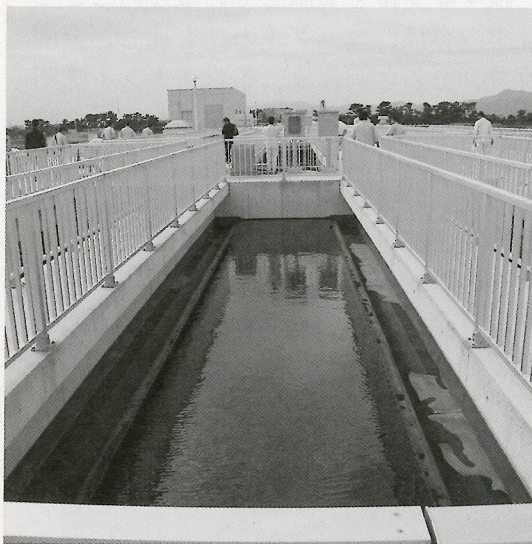
**問** 町民の協力でごみの減少と分別や入札など業務改善で大きな成果。廃プラ類の処理費は18年度と20年度と比べると4千万円、焼却灰2、400万円で計6、400万円の支出減少。古紙などの販売代金1、100万円増加。この財源でごみ袋は無料にできる。

・空き缶は有料で販売しそのごみ袋が有料、論理的にも矛盾。燃えるごみ袋は「固くて縛れない」改善を

**答** 空き缶が有償となったのは20年度からで、社会情勢により価格が変動するため状況を見たい。  
燃やせるごみ袋は、当初



林 茂 議員



流域下水道終末処理場（松茂町）

弱くて破れやすいという苦情があり、厚さを増した。改善は十分検討したいが、各家庭でも量を加減するなど工夫していただきたい。

### このまま続けていいのか下水道事業 2期計画は財政状況や社会情勢を 考慮し、十分検討して判断したい

**問** 9月2日、おはよう徳島「2市4町の悩み・行き詰まる下水道事業」という番組。下水道計画は事業費600億円で汚水処理人口17万人、現在300億円使って処理人口2万人。財政難で見直す市町もでている。

・下水道が供用開始されたが下水道に接続している世帯数と見直しは

・第1期事業の予算と財源内訳は、返済計画と金額は  
**答** 9月1日現在、加入申込書提出は54件。3年以内に入っただけ多くの方に加入していただけるよう努力したい。

1期工事業費26億180万円の内、20年度末実施済は18億1、619万円。財源内訳は国費8億5、500万円、起債8億1、600万円、町費単独1億4、519万円。償還終了は事業完成の約25年後と推計。年平均約4千万円ずつ償還の予定である。

## 総体質問

**問** 校務用・教育用コンピュータ、ハイブリッド公用車、地デジ対応テレビ、街灯のLED化など、補正予算を組んでまで急ぐ必要があるのか。

**答** 今回の地域活性化・経済危機対策臨時交付金を利用し、いずれ必要であるが町単独での整備は難しいものを予算計上したものである。

**問** 経済危機対策の今回の補正内容は物品の購入がほとんどであるが、住民の命や暮らしを重視すべきではないか。

**答** 臨時交付金の額は当初から決まっており、対象事業を幅広く各課に募った結果、今回補正予算計上した事業になったということであり、大勢の町民の方にこの効果が現れるようにという気持ちを込めての補正である。御理解いただきたい。

**問** ダストストックハウス（土砂仮置場）工事費明細の説明を求める。

**答** 建物6、600万円、浄化槽関係750万円、その他外構、舗装、構内の緑化、門扉、フェンス等を全て含めて1億200万円の予算を計上している。

**問** 藍住町企業立地の促進等による地域における産業集積の形成及び活性化に関する法律第10条第1項の規定に基づく準則を定める条例の制定について、現行制度より緑化率を緩和するのは、今の環境問題に対し逆行するのではないか。

**答** 以前の道路拡幅に伴い、企業から用地買収し、一部緑地帯を伐採とか御協力いただき、今、マイナスになっているという経緯がある。この辺りも考えて今回の条例提案に踏み切ったものであり、企業が緑化面積25%を維持しないという意味ではない。現在の企業についても今後努力していくという約束は取り付けており、その想定の下、緩和措置をとるものである。逆行しているという点については、十分その点も見据えていかなければならず、会社側にも十分、お願いをしていかなければならないという気持ちである。

## 防災対策特別委員会報告

7月22日、徳島県立防災センターの視察を行った。

まず、災害に対する備えの大切さをスクリーン映像で視聴した後、地震体験、消火体験、煙体験、風速30メートルの風等災害についての状況や行動について実際に近い状態で体験し、その対応を聞いた後、地震防災の説明を受けました。

南海地震の発生確率は今後30年以内に50～60%となっており、被害を少なく命を守るためには、建物の耐震化や家具の転倒防止が最重要とのことであった。また、自分たちの地域で対応できるように地域の防災力が必要であり、個人の防災意識の向上、家庭の防災対策と地域の助け合いが大事とのことであった。

自らの命は自らで守る「自助」、自分たちの地域は自分たちで守る「共助」、そして行政の地震に強い社会づくりという「公助」と連携しながらの防上力向上の意義の重要性を学び、大いに参考になった。



防災センターで説明を受ける委員

## 厚生常任委員会報告

7月14日、町内の障害者施設5か所の視察を行い、資料をもとに説明を受けた。

利用者に生産活動の機会を提供し、障害者の自立と社会参加促進に向けて必要な知識や能力の向上のため、様々な支援を実施しているとのことであった。仕事内容は、ゴールのひも通し、公園清掃、パソコンでの名刺作成、インスタント味噌汁の袋詰め、喫茶店の運営販売等があり、受注作業収入は、作業工賃として利用者に支払われるとのことであった。障害者の地域における生活を支える様々な事業を聞き、大変参考になった。

なお、不況の影響で作業の受注が減っているとのことであり、受注先があれば紹介していただきたいとの要望があった。



施設を視察する委員

# 町からの主な報告

## 乳幼児等医療費 助成制度

子育て支援の一環として、11月1日から対象年齢を小学3年生まで拡大し、所得制限も廃止する。

この対象年齢拡大分に対し、平成22年度まで2分の1の県補助金があることとなっているが、本町としては、仮に2年後に県費補助制度が廃止されたとしても、子育て支援のために、この制度を後退させることなく、継続もしくは更に拡充をする方針である。

## 藍住町生活支援金制度

本年4月から給付開始された定額給付金、子育て応援特別手当を受け取っていないと思われるDV被害者の皆さんに、同額を給付し、生活と子育ての支援を図りたい。

## 土砂仮置場

現有施設から東へ50mの

正法寺川右岸で、約5千㎡の用地取得を計画。施設は建屋方式を採用し、臭気対策、景観等の環境面に配慮した構造物を建設予定である。

## 学校支援地域本部事業

地域の人材を活用し、学校支援ボランティアとして参加を求めていることとする。文部科学省の委託事業である。本事業は今までの取り組みの延長線上にあつて、地域ぐるみの学校支援体制づくりを制度として整備するものである。町民の思いを学校支援ボランティアに結集し、これまで以上に、より効果的な学校支援を行い、教育の充実を図ってまいりたい。

## 地域活性化・経済危機 対策臨時交付金の活用

小・中学校関係では、教育用及び教師用コンピュータの購入、50インチデジタルテレビと電子黒板の導入、

理科教育設備の整備、運動場の一部芝生化を予定。

このほか、各公共施設への地上デジタル放送対応テレビの購入、街路灯の一部LED化、児童館トイレの洋式化、町道の歩道整備等を予定している。

## 本町の財政

主な財政指標では、経常収支比率が88・9%、公債

費比率が13・4%、財政力指数は0・74である。実質赤字比率及び連結実質赤字比率とも赤字は生じておらず、実質公債費比率は9・9%、将来負担比率が20・2%であり、いずれも基準を下回り、健全な状態を示している。また、公営企業会計の資金不足比率についても、水道事業会計及び下水道事業会計とも、資金不足は生じていない。



## 定例会案内

次の定例会は12月です。  
次号は2月に発行します。

○お問い合わせ  
議会事務局 ☎637-3127

## 本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局までお気軽にお越しください。なお、傍聴席の定員には限りがありますので、ご了承ください。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。

議会や町政に関するご意見をお寄せください。

## 投稿規定

1. 住所・氏名・電話番号を明記。
2. 掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
3. 字数は500字以内。
4. 投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。

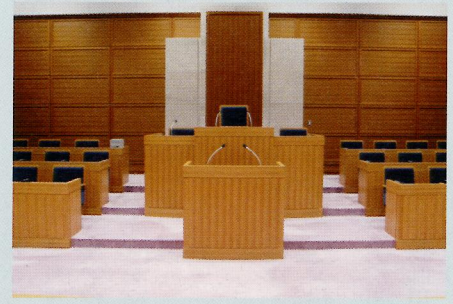
# わたしの一言

乙瀬 井上 常男さん

## 町議会での発言を評価

私は、藍住町議会開催日は、いつもAIテレビで議会の模様を拝聴していますが、先般の町議会で町議の方々から次のような有意義な発言がなされたことに賛同し感心しているものです。

- ①町民の防犯、災害等の安心、安全施策体制として教育者、警察、医療、消防、建設関係者等の各分野で活躍された方の地域での住民の安心、安全施策としてその方々のボランティアの確保をお願いしたい。
- ②藍住町には町営住宅がたくさんあるが老朽化が進んでいて地震がくれば大災害になる恐れがある。その対策も考えておくべきだ。
- ③日本人の死因の一位は、がんである。藍住町はがん検診促進に努めるべきだ。
- ④認知症高齢者に対する支援体制づくりに努めるべきだ。
- ⑤薬物乱用が大学生、高校生に浸透し、本県では中学校の先生の大麻所持があったと言われている。早急な対応が必要でないか。等以上の発言には町民の多くの方から高く評価されていると信じています。



藍住町議会議場

- 3日 南幼・南小運動会
- 4日 北幼・北小・西幼・西小・東幼・東小運動会

### 10月

- 6日 藍住東中体育祭
- 7日 9月定例議会開会
- 13日 敬老のつどい
- 14日 9月定例議会一般質問
- 16日 国民体育大会秋季大会壮行会
- 18日 9月定例議会閉会

### 9月

- 4日 板野郡町議会議長会定例会・正副議長と県知事との意見交換会（松茂町）
- 21日 行政課題研究会（徳島市）
- 28日 議会運営委員会

### 8月

## 議会のバリエーション Schedule



藍美展

- 9～10日 四国地区町村議会議長会議員研修会（愛媛県）
- 13日 徳島県町村議会議長会及び徳島県市町村議会議員公務災害補償等組合監査（徳島市）
- 17日 徳島県読書振興大会
- 23日 板野郡町議会議員研修会（上板町）
- 30日 議会だより編集委員会
- 31日 福祉・健康づくりの町フェスティバル

## 議会だより編集委員会

委員長	西岡 恵子
委員	小西 浩昭
委員	喜田 敏夫
委員	平石 賢治
委員	西川 良夫

**編集後記**

鳩山首相は所信表明演説で「人と人が支え合う社会を作っていく」そのための政治を弱者の視点から進めていく。政権交代を選んできた。官僚主導から政治主導へ、中央集権から地方主権へ、コンクリートから人へ。と新しい政治の流れに期待と不安が交錯しながら地方も旧態依然とした国や県に依存する政治から地域住民の視点に立った政治へと転換しなければならぬ。そのためには議会もまた政策立案能力を高めなければと思う。